

# 平成25年度 群建協の取り組みと「担い手対策」を考える

～「外国人材活用等に関するアンケート調査報告書」と「平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書」を手掛りにして～

平成26年3月28日  
国土交通省 建設産業活性化会議

(一社)群馬県建設業協会  
会長 青柳 剛

---

1. はじめに —平成25年度の主な取り組み—

2. 行動指針と「4つのコンテンツ」

3. 「外国人材（外国人労働者）活用等に関するアンケート調査報告書」と  
「平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書」

4. まとめ —提言と要望—

---

## 1. はじめに ー平成25年度の主な取り組みー

# 1. はじめに ー平成25年度の主な取り組みー

## 女性

### 環境すみずみパトロール

平成25年1月に沼田支部で発足した「女性環境すみずみパトロール隊」では、女性らしい細やかな目線で工事現場の作業環境（整理整頓や清掃状況）をパトロールし、改善活動を促している。

また、同年9月には、県内全支部での活動に発展し、今後も更なる女性の活躍と作業環境の改善が期待される。



【点検済ステッカー】



【パトロールの様子】

### 《行政のコメント》

- ・女性ならではの視点で見ていただくことは素晴らしい。男性中心の現場であることから気付けない点は必ずある。無事故無災害に向けて意識を高めてほしい。  
／桐生市長
- ・工事現場の整理整頓状況を女性の目線から点検し評価することは、労働基準監督署の指導の重点事項に通じるものであり、加えて作業員の服装や態度なども点検し、建設業のイメージアップをはかることは、新たな労働力確保にとっても有意義なもの。  
／群馬労働局長
- ・作業員の服装や態度まで女性目線で遠慮なく指摘していただき、現場の改善につなげてほしい。  
／高崎土木事務所長

### 《女性パトロール員のコメント》

- ・建設会社で働いていても、現場に行くのは初めて。言い経験になった。
- ・整理整頓を心掛けることが、必ずいい仕事につながると思う。
- ・女性の視点を活かして、少しでも地域に貢献できるよう取り組みたい。

### 《現場員のコメント》

- ・整理整頓を心掛けることにより作業効率がアップし、意識の高い規律ある現場につながると思う。
- ・県下全支部での取り組みは、無事故無災害へ向けた強い意気込みの表れ。私たち現場担当者も決意を新たに災害防止へ向けて取り組みたい。
- ・女性パトロール員が来ることで、殺風景で煩雑になりがちな現場がきれいになる。建設業のイメージアップへの効果は大きいのでは。

### Point

- 労働局、県と一体になった取り組み
- 安全パトロールと違った視点からのパトロール
- 女性の視点から考える「ものづくり」
- 若手人材確保の突破口
- 給与水準の引き上げ(68.2%)、安全で健康に働けるように取り組む(56.4%) / 2014.2.26 エヌ・アンド・シー調査 回答数2,000件

- 平成25年9月～12月にかけて全支部で実施
- 県内111名の女性パトロール員(52現場)
- トイレ・事務所・車・服装などのチェック
- 社内共有意識の向上
- 作業効率向上、事故を防ぐ
- 女性職員にとっては、入社以来はじめて訪れた現場

- 統一した白のジャンパーとピンクのたすき
- 協会の現場レベルアップと、非協会員とのものづくりの差別化
- 道路クリーン作戦、安全大会などにも参加
- 今後、Twitterでパトロール情報を発信

取り組みの  
ねらいと効果

## 安全で健康な職場環境づくりで入職促進

# 1. はじめに ー平成25年度の主な取り組みー

## 若者

### 県内建設系高校での説明会

建設産業の若年者不足に対応するための県内建設系高校7校における説明会（群馬県主催）に講師を派遣。  
生徒及び保護者を対象に、建設産業の魅力や将来性を直接伝え、学生の建設業離れを改善するために説明を行った。



H26年1月作成 冊子  
「土木技術者ってどんな仕事？」  
～土木工事の概要と魅力～

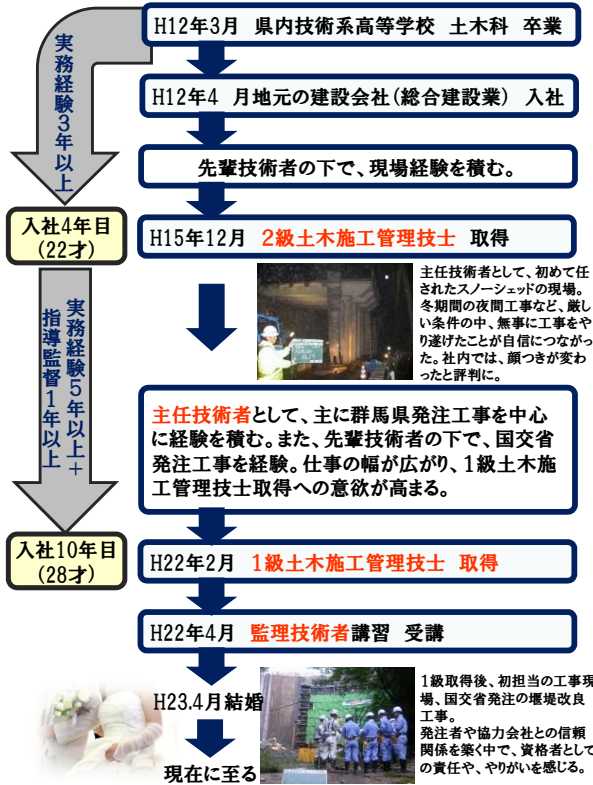


2月5日 利根実業高校  
環境技術科建設コースでの説明

#### Point

- 産・学・官、一体となった取り組み
- 目的意識を持って建設業に眼を向けてもらう活動
- 各高校での説明の参考資料
- 入社してから現在までが目に見える（成長のプロセス）
- 高校生からの感想文の反響はいい（平成26年3月6日）
- 目的を持って入れば途中で退社しない
- やりがいを理解できる
- 県内高校、大学、ハローワークなどに冊子を配布
- 今後、職種ごとの技術者・技能者のプロセスを描いた冊子を作成予定（平成26年度）

H君(32才)の高校卒業から今



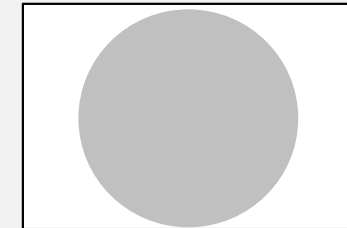
### イメージキャラクター マスコミ未発表



- イメージソング
  - ・作曲 佐瀬寿一（およげ たいやきくん）
  - ・平成26年1月24日 渋谷 シュガースタジオにて収録
  - ・大人Ver. 子供Ver.
  - ・カラオケ etc



- キャラクター体操
  - ・振付 伊藤まゆ（NHK 体操のおねえさん）
  - ・始業中のストレッチ体操
  - ・保育園、幼稚園での使用
  - ・他産業での展開 etc



- イメージキャラクター
  - ・イラストレーター 芦村早苗
  - ・犬のキャラクター…犬(ケン)と建(ケン)
  - ・ペーパークラフト
  - ・ピンバッジ etc

#### Point

- 平成26年度に発表（建設業もここまで変わってきたというイメージ）
- 子供の頃から建設業に対して親しむ感覚の醸成（眼と耳から）
- 露出・浸透させていくことが課題（平成26年度）
- 歌・動き・キャラと一体になった活動展開
- 各種協会関係資料にはキャラクターを使用

取り組みの  
ねらいと効果

## 建設業の仕事や魅力をわかりやすく、若者をひきつける活動

# 1. はじめに ー平成25年度の主な取り組みー

IT

## ソーシャルメディア(Twitter)による広報戦略 大雪災害への対応をGPS携帯により報告 → Twitter投稿

### GPS携帯を使った災害情報共有システム(平成20年より運用)



- 災害時の情報収集、点検パトロール、応急復旧
- 「群馬県」「各土木事務所」「群馬県建設業協会」において情報を共有

### 平成26年2月14日(金)の大雪をきっかけに Twitter投稿開始(平成26年2月19日～)



2/22投稿  
夜を徹した除雪作業で上野村孤立集落まであと100m



2/22投稿  
南牧村の孤立住宅へ向かうため、自衛隊ヘリで移動

### 《続々と寄せられたメッセージ》

- 孤立集落は霧積温泉が最後だったんだ！まずは安心しました。危険な状況の中ご苦労さまでした。
- かっこいいな～☆群馬県建設業協会☆
- 群馬県建設業協会の奮闘ぶりに胸熱。わたしのふるさと、春はすぐそこまで来ているよ。
- 素晴らしい。その働きもそうだが、重機写真の多さがたまらん。
- 連日、最前線での雪との格闘がアップされている。これを機に有効な情報発信を期待。

- (一社)群馬県建設業協会としてTwitterのアカウントを取得
- 県内各地区の協会員から、GPS災害情報共有システムに逐次寄せられる積雪状況、除雪状況、道路状況などの情報を選択・抽出し、Twitterに投稿

### Point

- 行政との情報の共有から、人とのつながりで広がる情報へ
- クローズされた情報からオープンへ
- 口コミ効果による情報の拡散
- 個人がメイン
- コミュニティとなり拡散

- 興味があるユーザーに対し、双方向で情報提供
- リアルタイム性
- 可視性
- マスメディアとソーシャルメディアの組み合わせ
- 事故をマスコミは取り上げるが、いいつくり方などはなかなか取り上げられない

- 話題性・ニュース性・わかりやすい→マスメディア
- イベントの際に発信(女性パトロール、クリーン作戦)
- 今後、ハッシュタグなどを考える(#災害訓練、#大雨、#台風…)

取り組みの  
ねらいと効果

マスメディアでは取り上げられにくい地道な活動を繰り返し発信… <国民の理解を促進する>

# 1. はじめに ー平成25年度の主な取り組みー

## 環境

### 道路クリーン作戦

26年間続いてきた「道路クリーン作戦」と「GPS携帯による災害情報共有システム」を組み合わせることで、ゴミ回収作業の状況把握を行い、建設業の地域貢献活動としての取り組みを県民にアピールすると共に、システム利用の訓練を兼ねて行い、災害時のより速やかな対応につなげていく。

加えて「女性環境すみずみパトロール隊」の参加により、建設業のイメージアップを図る。

- 平成25年5月30日（ごみゼロの日）実施
- 昭和63年より今年で26回に亘る
- 全県下12支部一斉作業
- 協会の車両、機械、作業員を提供
- 本年度実績：作業人数 1,782人 作業車両数525台
- 作業内容：道路清掃、ゴミ・空き缶の除去、カーブミラー清掃
- 本年度：不燃物回収7,778.7kg, 可燃物 8,846.4kg
- 広報：上毛新聞全面広告・記事 群馬テレビ

#### 【GPS携帯から送られてきた各支部の出動式などの様子】



桐生支部

渋川支部

安中支部

伊勢崎支部

高崎支部

館林支部

前橋支部



藤岡支部



沼田支部



富岡支部



太田支部



吾妻支部

#### 【女性環境すみずみパトロール隊の参加】



館林支部



沼田支部

本年度の新たな取り組みとして、女性パトロール隊員（館林支部10人・沼田支部8人）が参加。道路清掃やゴミ拾いなどの作業を行った。

### Point

- 知事より感謝状(平成25年10月23日)
- 環境を大事にする取り組み
- 建設業の役割をわかりやすく表現
- ボランティア活動として定着
- 災害訓練も兼ねる
- 平成26年度からイメージキャラクターも参加
- 今年は富岡地区が拠点地区

取り組みの  
ねらいと効果

建設業の地域貢献活動と災害訓練(GPS災害情報共有システムとTwitter)

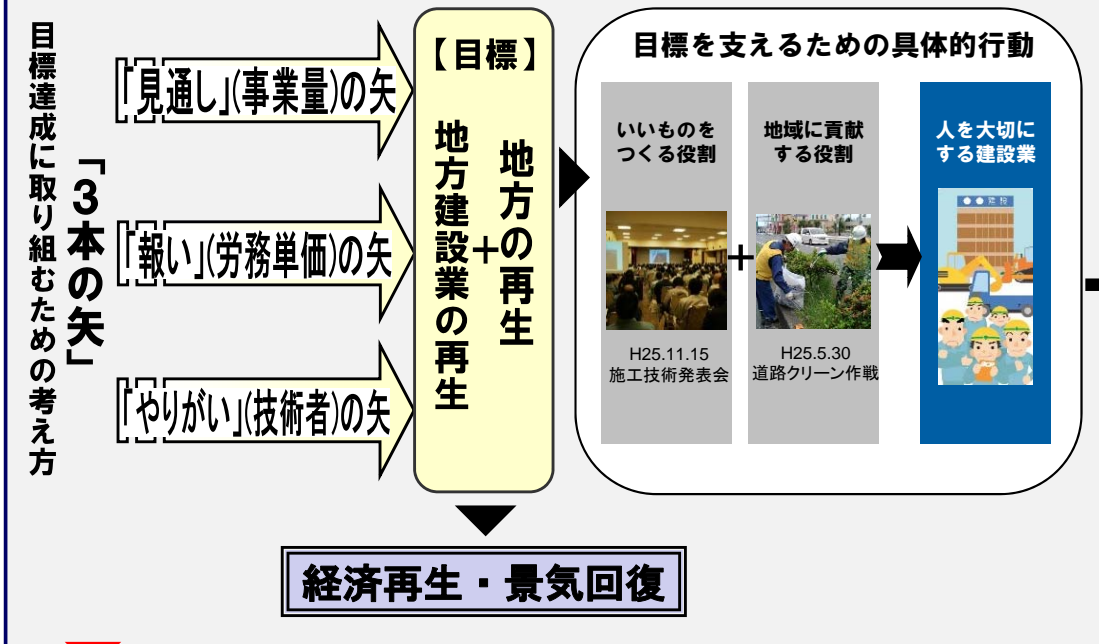
---

## 2. 行動指針と「4つのコンテンツ」



# 2. 行動指針と「4つのコンテンツ」

## 行動指針 (H25.5.16)



## 「4つのコンテンツ」

<p><b>女性</b></p> <p>女性環境すみずみパトロール</p> <p>H25.10作成 リーフレット「女性の力を活用」</p>	<p><b>若者</b></p> <p>県内建設系高校での説明、イメージキャラクター</p> <p>H26.1作成 冊子「土木技術者ってどんな仕事？」</p>	<p><b>IT</b></p> <p>災害情報共有システムとTwitterとの融合</p> <p>マスメディアからソーシャルメディアによる広報戦略</p> <p>H26.2 大雪災害への対応をGPS携帯により報告をTwitter投稿</p>	<p><b>環境</b></p> <p>道路クリーン作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年5月30日実施(ごみゼロの日)</li> <li>・昭和63年より26回に亘る</li> <li>・全県下12支部一斉作業</li> <li>・協会の車両、機械、作業員を提供</li> <li>・作業内容：道路清掃、ゴミ拾いなど</li> </ul> <p>H25より、女性環境すみずみパトロール隊も参加</p>
-----------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### Point

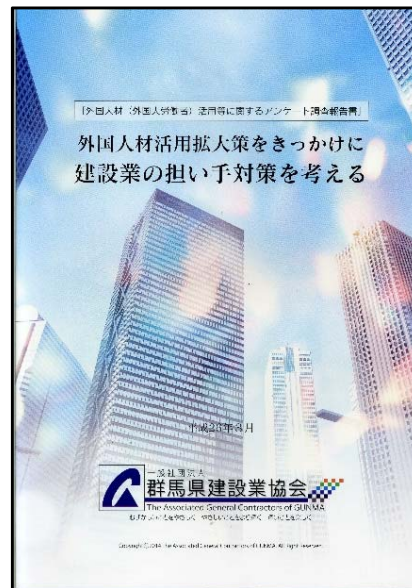
- 「見通し」「報い」「やりがい」の3本の矢を見据えながら活動を展開
- 上向きだした期待値を更に高めるための活動
- 事業量が下げ止った時の目標
- 発注者との意見交換会での議論のベースとなる3本の矢
- 地方経済・雇用の受け皿として大きな役割を占める建設業の再生こそ「地方再生」の基礎
- 事業量確保、労務単価引き上げ、適正な歩掛り、担い手の中長期的な育成・確保、不調不落対策、適切な工期設定、平準化発注、ダンピング対策
- 生産性を上げるものづくり
- どちらかといえば結果がわかりやすい活動(業界内には理解されやすい)

### Point

- 国民への理解促進、人材確保・育成
- 前向きの風が吹いている時こそ4つのコンテンツの活動
- 業界自ら渦となってメッセージを発信する
- 4つとも建設業の魅力を高めるための取り組み
- すぐに結果が見えない活動(国民には見えやすい)=すぐに離れていかない

取り組みのねらいと効果 **ようやく吹き出した前向きの風を確実なものにするための取り組み**

### 3. 「外国人材（外国人労働者）活用等に関するアンケート調査報告書」と 「平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書」



「外国人材（外国人労働者）活用等に関するアンケート調査報告書」  
～外国人材活用拡大策をきっかけに 建設業の担い手対策を考える～



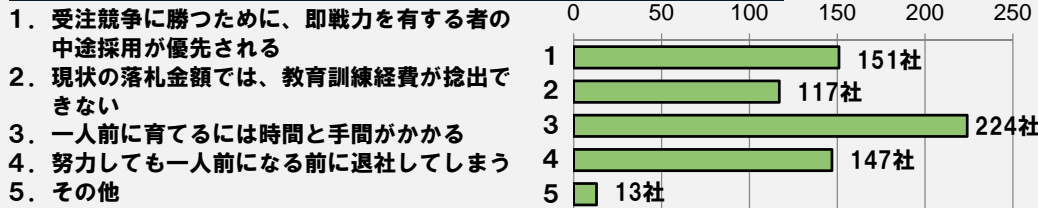
「平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書」  
～群馬県建設業協会は歴史的大雪にどう対応したか～

# 3. 「外国人材(外国人労働者)活用等に関するアンケート調査」と「平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書」

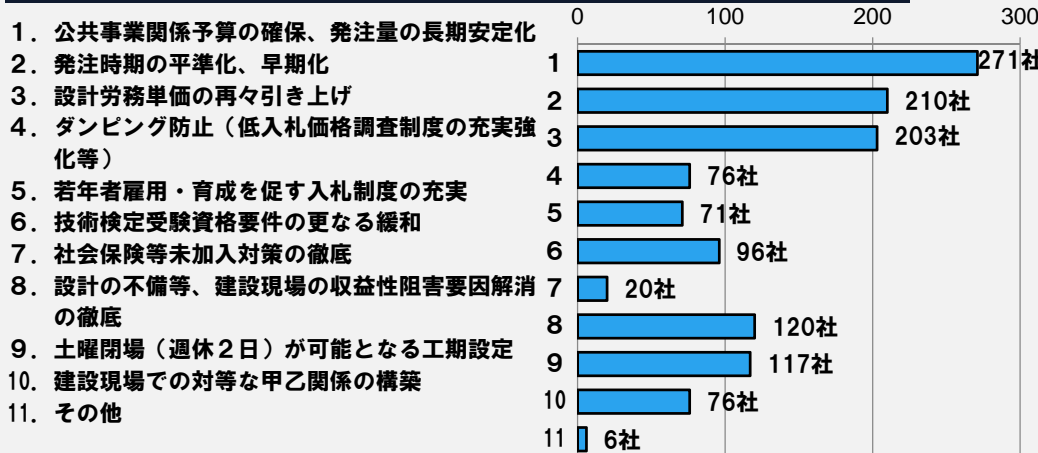
## 外国人材(外国人労働者)活用等に関するアンケート調査報告書(抜粋)

アンケート調査日 平成26年2月3日～2月14日 回答 345社中304社(回答率 88%)

### 【採用した若年者を育成するには何が問題か(各社3つ以内の選択)】



### 【担い手確保・育成のためには、どんな施策がより重要か(各社5つ以内の選択)】



### Point 主な賛成意見と反対意見(抜粋)

- 賛成: 高齢化や人手不足をカバーするには良い。
- 賛成: 東京オリンピックの建設需要に限って東京都だけ認めたらどうか。
- 反対: 運転免許証をはじめ資格が必要な建設業界で、本当に活用できるのか。
- 反対: 職人になるには一口に10年と言われているが、何年働けるかわからない外国人に期待できるのか。

## 平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書(抜粋)

アンケート調査日 平成26年2月25日～3月3日 回答 345社中309社(回答率 89.5%)

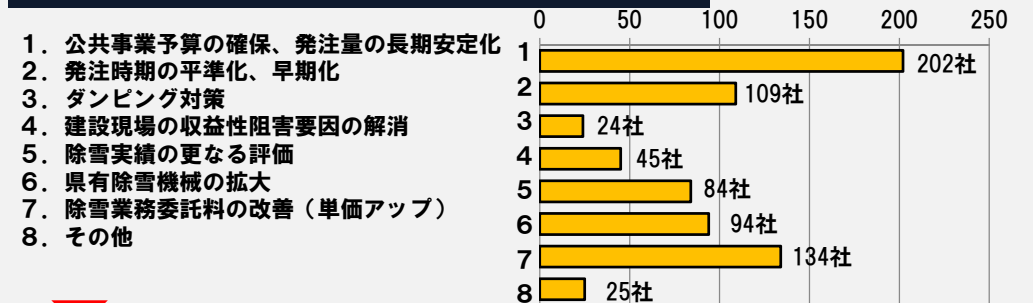
### 【除雪作業を実施した作業員の人数】

(単位: 人)

分類	作業日	2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	2/21	2/22	2/23以降	計
国土交通省		36	67	70	96	87	104	98	98	91	169	916
県		746	1,051	1,149	1,175	1,034	934	908	925	784	1,780	10,486
市町村		400	684	942	979	942	854	747	647	500	958	7,653
ネクスコ		16	16	18	19	30	12	8	10	5	27	161
民間(商店・工場等)		60	260	387	529	484	320	303	252	129	256	2,980
その他		64	102	86	162	133	106	73	40	33	77	876
計		1,322	2,180	2,652	2,960	2,710	2,330	2,137	1,972	1,542	3,267	23,072

注1 作業員人数には作業責任者を含む 注2 同一日に複数の要請元の作業をした場合にはどちらにもカウント  
注3 作業が昼夜に渡り日付をまたぐ場合も両日カウント

### 【除雪体制を維持するのに必要な事項(各社3つ以内の選択)】



### Point 除雪体制の不十分な点についての自由意見(抜粋)

- 積雪によって機械にたどり着くまで時間がかかった。
- 渋滞によって作業が停滞した。
- 待機命令、作業開始命令が必要だと思う。
- 積雪量が多く、除雪機械の日進量が遅かった。
- リース品を含め、除雪機械を保有する業者数が少ない。

取り組みの  
ねらいと効果

地方建設業の役割を果たすために、今何が求められているかを明確にすること

「いいものをつくる役割」と「地域に貢献する役割」

---

## 4. まとめ —提言と要望—

# 4. まとめ—提言と要望—

## 担い手対策に対する提言・要望 外国人材(外国人労働者)活用等に関するアンケート調査報告書より

- ① 外国人材の拡大は、両刃の剣、悪影響は最小限に
- ② 過剰時代にできた現制度下では、若年者の入職促進は困難
- ③ 建設業界を上げて雇用改善に努力する必要がある
- ④ 災害列島の下で、全地球的な地域競争に打ち勝つには、社会資本の整備、建設業の役割が大事なことを理解して欲しい。
- ⑤ 中長期的な展望に立った施策の展開

## 除雪に関する提言・要望 平成26年豪雪対応に関する緊急アンケート調査報告書より

- ① 今回の教訓を活かした大雪に強い社会づくりの推進
- ② 道路除雪は、地域の理解と協力が必要
- ③ 建設業の現在の除雪体制(要員・除雪機械)は、建設業の本業が安定しないと維持は困難
- ④ 道路(社会資本)は、県民の生活や経済活動の重要な基盤
- ⑤ 道路除雪体制を維持する効果

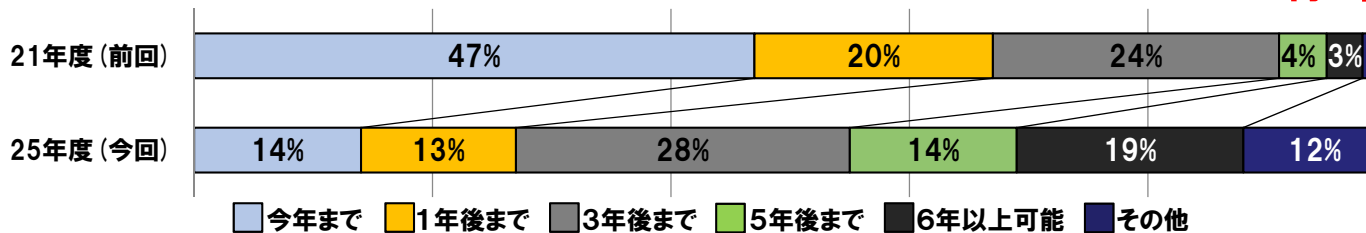
いいものをつくる役割 >>>

<<< 地域に貢献する役割

### 検証

【現状(担当距離・受注環境等)が継続した場合の除雪体制維持について／平成21年度調査結果との比較】

除雪体制維持に明るさ 国、県の前向き政策実感



◀ H21年度「あと3年後」が91%

◀ H25年度「あと3年後」が55%

### まとめ

■ 中長期的な展望に立った施策を中軸に据え、当面する諸課題を着実に積み上げていくことである……体格よりも体質へ